

在宅緩和ケアの利用に向けての チェックリスト

○主な病名・主治医名・病院名

○今はどこにおられますか？

病院、自宅、施設、その他（ ）

○介護保険を申請・利用していますか？

はい（ ） いいえ（ ）

○ご本人が心配に思っていることは？

痛み、便秘、食欲低下、息苦しさ
費用、家族への負担、その他（ ）

○ご家族が心配に思っていることは？

急変時の対応、住診医、費用面
介護方法（排泄・食事・入浴・他）
その他（ ）

○最期をご本人はどこで迎えたいですか？

自宅、病院、緩和ケア病棟
その他（ ）

○そこで最期を迎える時の心配は何ですか？

○今一番大事にしたいことは何ですか？

具体的に知りたい方やその
他病院情報については、
下記に
お電話ください

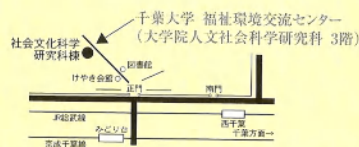
NPO法人 ビュー 無料電話相談

毎週火・金 13:00～17:00

☎ 043-290-3029

（千葉大学法経学部 福祉環境交流センター内）

- ・在宅緩和ケアの経験者が
ご相談に応じます。
- ・看護師・ケアマネージャー等の
専門職からの助言も受けられます。
- ・面談相談も事前に電話で
ご予約頂き行っています。
- ・「家に帰ろう! 在宅ホスピスケア
ガイド―千葉市版」をはじめ
各種小冊子を取り揃えています。



厚生労働省科学研究費補助金「在宅医療の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究」渡辺班により作成されています
編著:NPO法人「ビュー」藤田敦子、森澤ひろこ

問合せ:〒273-0853 船橋市金杉7-40-3 NPO法人「ビュー」
TEL070-5554-3734 FAX047-448-7689
URL <http://www.npo-pure.npo-jp.net/>

平成28年2月発行

大切な方を支える
家族や友人の方へ

在宅がん 緩和ケア Q & A



千葉県がんセンター編

「在宅医療の早期参加による
在宅緩和医療推進」に関する研究班

はじめに…

このリーフレットは、「がん」の治療をして
いる本人を支えるご家族やご友人の方へ
向けて作られています。

「がん」という病気はあっても、自分たちの
自宅での暮らしに戻るにあたり、よくある不
安や疑問について Q & A の形で解説して
います。

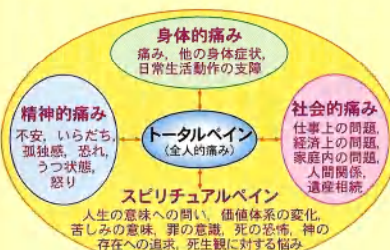
あなたの大切な人と自宅で最期まで過ご
すための一助となれば幸いです。

Q 現在、がん治療で入院中です。主治
医から「退院するなら、今です」と言
われました。この状態で自宅で生活で
きますか？

A 今後のご本人の体調の予測がつかない
中、医療が身近にある病院から退院
することに不安を感じることと思われ
ます。しかし、「自宅に帰りたい」と
ご本人・ご家族が希望されるなら、「緩和
ケア」を受ける体制をととのえること
で、安心して自宅での生活に戻る方
が増えています。

Q 緩和ケアとは、何ですか？

A 「がん」という病気を抱えながらの
生活は、右図のように様々な苦痛が
伴うことがあります。



緩和ケアはこれらの苦痛を予防したり、対処
することで、クオリティ・オブ・ライフ（生
活の質、生命の質）を改善するための方法の
一つです。種類としては、外来や治療病棟で
の緩和ケアチームによるサポート、緩和ケア
病棟での施設緩和ケアや自宅に医療チームを
派遣してもらう在宅緩和ケアがあります。

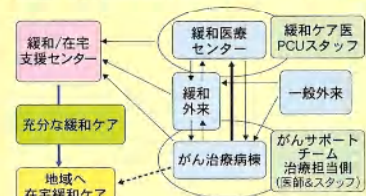
Q 在宅緩和ケアを始めるには、どうしたら
よいですか？

A まず、自宅での生活をする上でどんな不安
があるか、また、ご本人がどんな状態かを次
項の『チェックリスト』を使って確認して
みましょう。そのうえで、緩和ケアを提供し
てくれる実施機関に具体的なケアを受ける
体制を相談してみましょう。

Q 具体的に自宅での生活準備をするた
めに相談にのってくれる機関はありま
すか？

A 現在入院されている病院の医療相談
室や在宅緩和ケアを推進している病院
等があります。たとえば、千葉県がん
センターでは下図のような相談支援の
流れがあります。

千葉県がんセンターにおける在宅療養までの流れ



緩和/在宅支援センターの位置付けと役割

- 患者相談支援センター（治療病棟1階ロビー内・相談窓口電話あり）
- 緩和/在宅支援センター（緩和医療センター内）

在宅支援部門

- ・患者・家族と面談し必要な情報収集
- ・在宅療養の意思を確認し具体的にイメージできるよう情報提供
- ・問題点を明らかにして調整する
- ・必要なサービスについて相談
- ・今後の方向性や予測される症状の変化について確認（入院する場所など）
- ・訪問診療・訪問看護・居宅介護事業所の紹介及び連携
- ・連携した機関へ必要な情報をできるだけ早く送付
- ・合同カンファレンスの開催・開催

退院または外来後在宅療養開始 サービスの導入後

- ・在宅療養中の様子について地域と情報交換
- ・外来時の患者の状況を報告
- ・入院が必要な時の連絡